

日本国内映画館初！ AKRacingと共同開発した「AKRacing BOXシート」 新宿ピカデリーに導入



株式会社松竹マルチプレックスシアターズ（東京都中央区、代表取締役社長：榎村暢彦、以下SMT）は、6月18日（水）より新宿ピカデリー（東京都新宿区）に、ゲーミングチェアの世界的リーディングブランド・AKRacing（エーケーレーシング）とコラボしたスペシャルシート「AKRacing BOXシート」（エーケーレーシングボックスシート）を導入致します。

SMTでは、お客様にとってより快適な映画の鑑賞環境や設備を考えるにあたり、文化・スポーツ・教育施設など主に公共施設向けの家具の製造・販売を手掛けるコトブキシーティング株式会社（東京都千代田区、代表取締役：深澤重幸、深澤啓子）の協力の下、既存の映画館の仕様に囚われることなく他業種・業態から積極的に情報収集や研究に取り組んで参りました。

その過程で、長時間着席時の快適性・疲労度軽減に特化したゲーミングチェアの機能性に親和性を感じ、大型スポーツ施設等、環境に応じた開発・導入実績のあるAKRacingに注目し、日本総代理店であるテックウィンド株式会社（東京都文京区、代表取締役社長：王夢周）と共同で、新たな映画館のスペシャルシートを開発する運びとなりました。AKRacingのシートが日本の映画館に導入されるのは初となります。

SMTオリジナル仕様のチェア、通常座席より2倍のプライベートスペース

2022年3月より始まった本プロジェクトは、映画鑑賞のための最高の環境を生み出すため、約3年の長きに渡り研究・改善を重ねました。国産高級車と同素材のPULレザーを採用した椅子の背面はAKRacingチェアの最上位モデルPremiumシリーズ、座面はそのラグジュアリーモデルであるPremium Monarcaシリーズを組み合わせたSMTオリジナル仕様。ホールド感とリラックス感がミックスされた極上の座り心地がご堪能頂けます。

1席ずつBOX型で区切られ、荷物入れのついたサイドテーブル、2つのドリンクホルダー、上着や荷物を掛けるフックを完備。全体で通常座席の約2倍のプライベートスペースが確保され、映画の世界に没頭できます。「AKRacing BOXシート」は新宿ピカデリーの各スクリーンの最後列に設置致します。（6番スクリーンを除く）

AKRacing (エーケーレーシング)

カーレーシングシートの技術を取り入れた快適な座り心地と、他社に無いユニークかつ機能的な素材を採用した製品開発により、進化を続けるゲーミングチェアのリーディングブランドです。ゲーミングチェアの一般化に伴ってそのユーザー層はさらに拡大を見せており、女性や若年層のユーザーにもゲーム用途のみならず在宅ワークや学習用など幅広い用途で使用されています。

公式ブランドサイト <https://www.akracing.jp/>

AKRacing BOXシート 機能特徴

ヘッドレスト

頭と首を支え、長時間座っていても疲れにくい姿勢を作ります

メタルフレーム

内部のメタルフレームは高い安全性と耐久性を兼ね備えています

アームレスト

クッション付きのひじ掛けはSMTオリジナル仕様。2つのドリンクホルダーを完備。

ランバーサポート

腰椎をしっかりと支え正しい姿勢をサポート。長時間座っていても疲れにくい姿勢を作ります

座面クッション

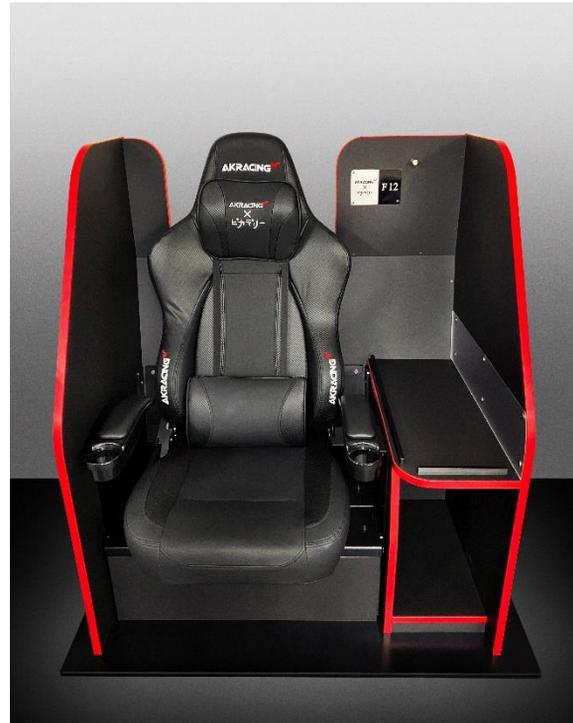
圧力を分散し、集中的に圧力がかかる部位をなくすことで疲労を軽減

リクライニング機能

座面と背もたれの角度を固定したまま、最大115°の角度まで全体を傾けることができます

サイドパネル

コトブキシーティング株式会社による荷物入れ付きのサイドテーブル、上着や荷物を掛けるフックを完備



横1m×高さ1.2mのプライベートスペースを確保

料金

3,000円均一（一部特別料金、特別興行除く）

※ムビチケ、各種割引、招待券、株主券はご使用頂けません

座席数

	総座席数	AKRacing BOXシート
スクリーン1	563	19
スクリーン2	288	16
スクリーン3	274	15
スクリーン4	119	9
スクリーン5	147	10
スクリーン6	232	0
スクリーン7	119	9
スクリーン8	147	10
スクリーン9	119	9
スクリーン10	107	9
計	2115	106

導入日

6月18日（水）スクリーン1より

以降、各スクリーン随時導入予定

チケット販売

WEB 6月17日（火）17：00～SMT Members先行／21：00～一般

劇場窓口 6月18日（水）劇場オープン～